



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所
コード番号 3750 URL <https://www.cytori.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤村 剛

TEL 03-6860-5701

定時株主総会開催予定日 2023年6月23日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,144	60.6	794		862		1,059	
2022年3月期	1,335	3.8	462		418		77	

(注) 包括利益 2023年3月期 1,059百万円 (%) 2022年3月期 77百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	118.71		35.6	5.7	37.0
2022年3月期	8.79		2.2	2.7	34.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	14,091	2,656	17.3	273.41
2022年3月期	16,006	3,716	21.9	392.12

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,441百万円 2022年3月期 3,501百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	39	283	294	673
2022年3月期	187	216	35	701

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期(予想)								

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,790	16.5	21		80		30		3.44

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外2社(社名) 都立大学1匿名組合、都立大学2匿名組合

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	8,929,419 株	2022年3月期	8,929,419 株
期末自己株式数	2023年3月期	925 株	2022年3月期	700 株
期中平均株式数	2023年3月期	8,928,548 株	2022年3月期	8,829,847 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和に伴い社会経済活動の正常化が進んだものの、資源価格の高騰や物価の上昇等により先行きは依然不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,144百万円（前連結会計年度比60.6%増）、営業損失は794百万円（前連結会計年度 営業損失462百万円）、経常損失は862百万円（前連結会計年度 経常損失418百万円）となり、減損損失205百万円及び関係会社株式売却損107百万円を計上したこと等により、税金等調整前当期純損失は1,166百万円（前連結会計年度 税金等調整前当期純損失65百万円）となりました。また、法人税等調整額108百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は1,059百万円（前連結会計年度 親会社株主に帰属する当期純損失77百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（メディカル事業）

当連結会計年度におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ積極的に販売してまいりました。しかしながら、アライアンス先の選定及び細胞治療サービスの提供開始が当初想定より遅れていること等により、当連結会計年度のメディカル事業の売上高は237百万円（前連結会計年度比7.4%減）にとどまりました。

営業損益につきましては、国内の治験に係る費用が嵩み、営業損失は403百万円（前連結会計年度 営業損失157百万円）となりました。

（リアルアセット事業）

当連結会計年度におけるリアルアセット事業は、ホテル金沢㈱において新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた宿泊・宴会の売上が大幅に回復しました。また、㈱サテライト名古屋の子会社化、匿名組合出資持分の売却等の結果、当連結会計年度のリアルアセット事業の売上高は1,906百万円（前連結会計年度比76.8%増）となりました。

営業損益につきましては、子会社化した㈱サテライト名古屋における販管費の負担が大きく、営業損失229百万円（前連結会計年度 営業損失156百万円）を計上することとなりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における流動資産は1,388百万円となり、前連結会計年度末より1,640百万円減少いたしました。これは主に、都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による販売用不動産の減少及び営業投資有価証券の売却によるものであります。固定資産は12,703百万円となり、前連結会計年度末より274百万円減少いたしました。

この結果、総資産は14,091百万円となり、前連結会計年度末より1,915百万円減少いたしました。

当連結会計年度末における流動負債は1,173百万円となり、前連結会計年度末より178百万円増加いたしました。これは主に短期の運転資金の借入の増加によるものであります。

固定負債は10,261百万円となり、前連結会計年度末より1,033百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は11,434百万円となり、前連結会計年度末より855百万円減少いたしました。

純資産は、2,656百万円となり、前連結会計年度末より1,059百万円減少いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期より引き続き、新型コロナウイルス感染症後の経営立て直しのための設備投資の強化により、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、当連結会計年度末には673百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、減少した資金は39百万円（前連結会計年度は187百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失及び利息の支払によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、減少した資金は283百万円（前連結会計年度は216百万円の減少）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出を下回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、増加した資金は294百万円（前連結会計年度は35百万円の増加）となりました。これは主に短期借入れによる収入及び長期借入れによる収入等が、長期借入れ金の返済を上回ったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
自己資本比率（%）	48.1	24.6	22.3	21.9	17.3
時価ベースの自己資本比率（%）	43.1	44.0	84.1	64.7	71.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	16.5	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	9.2	—	—	—

（注）・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値× 期末発行済株式総数により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和に伴い、経済活動がさらに改善していくことが期待されますが、原材料価格の高騰や物価上昇等を背景に世界経済の先行きは不透明感が増しております。

このような状況のもと、当社グループでは、医療機器の販売から細胞治療を主軸とした医療サービスへのシフトを加速するとともに、保有不動産の売却を進めアセット保有型から運用型へビジネスモデルを切り替えてまいります。

2024年3月期の連結業績につきましては、売上高1,790百万円（当連結会計年度比16.5%減）、営業損失21百万円（当連結会計年度は営業損失794百万円）、経常損失80百万円（当連結会計年度は経常損失862百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失30百万円（当連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,059百万円）を見込んでおります。

配当金につきまして、当社は将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して適正な利益還元を努めております。しかしながら2023年3月期は、親会社株主に帰属する当期純損失1,059百万円を計上する結果となりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2023年3月期の期末配当金を無配とさせていただきます。

当業績予想等は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループでは医療機器の販売を中心とするビジネスモデルから細胞治療を主軸とした医療サービスへのシフトを加速し、収益の改善に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当連結会計年度末において、1,123,050千円の現金及び預金を保有しており、当面の事業資金を確保しております。また、保有不動産の売却を進めて資金を確保してまいります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、連結財務諸表への注記は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,558	1,123,050
売掛金	117,332	113,144
販売用不動産	1,484,675	-
商品	161,522	116,211
その他	414,074	35,793
流動資産合計	3,029,163	1,388,200
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,412,442	4,231,334
土地	7,426,129	7,252,244
その他（純額）	202,482	243,607
有形固定資産合計	12,041,055	11,727,186
無形固定資産		
のれん	693,077	647,145
その他	49,424	41,682
無形固定資産合計	742,502	688,828
投資その他の資産		
繰延税金資産	79,235	157,035
その他	114,810	130,384
投資その他の資産合計	194,045	287,419
固定資産合計	12,977,602	12,703,434
資産合計	16,006,766	14,091,635
負債の部		
流動負債		
短期借入金	164,275	500,000
1年内返済予定の長期借入金	553,392	401,237
その他	277,822	272,386
流動負債合計	995,489	1,173,624
固定負債		
長期借入金	8,550,792	7,605,855
匿名組合出資預り金	1,035,234	1,078,884
繰延税金負債	1,517,164	1,436,377
その他	191,633	140,212
固定負債合計	11,294,823	10,261,328
負債合計	12,290,313	11,434,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,939,268	2,939,268
利益剰余金	462,800	△596,921
自己株式	△982	△1,240
株主資本合計	3,501,085	2,441,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	66
その他の包括利益累計額合計	67	66
新株予約権	211,501	211,501
非支配株主持分	3,798	4,007
純資産合計	3,716,452	2,656,682
負債純資産合計	16,006,766	14,091,635

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,335,578	2,144,712
売上原価	476,345	875,724
売上総利益	859,233	1,268,988
販売費及び一般管理費		
役員報酬	134,705	152,051
給料及び手当	316,390	447,389
減価償却費	236,507	280,383
その他	633,954	1,183,524
販売費及び一般管理費合計	1,321,557	2,063,348
営業損失(△)	△462,323	△794,359
営業外収益		
助成金収入	116,121	76,870
その他	26,578	9,841
営業外収益合計	142,699	86,712
営業外費用		
支払利息	93,194	129,241
アレンジメントフィー	-	25,000
その他	5,246	319
営業外費用合計	98,441	154,561
経常損失(△)	△418,065	△862,208
特別利益		
投資有価証券売却益	85,510	-
負ののれん発生益	214,377	-
債務免除益	37,105	-
その他	-	0
特別利益合計	336,993	0
特別損失		
関係会社出資金売却損	-	107,628
減損損失	-	205,479
和解金	3,500	-
その他	-	2,374
特別損失合計	3,500	315,481
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純損失(△)	△84,572	△1,177,690
匿名組合損益分配額	△19,236	△11,614
税金等調整前当期純損失(△)	△65,336	△1,166,076
法人税、住民税及び事業税	5,809	1,976
法人税等調整額	5,948	△108,321
法人税等合計	11,758	△106,344
当期純損失(△)	△77,094	△1,059,731
非支配株主に帰属する当期純利益	538	209
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△77,633	△1,059,941

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△77,094	△1,059,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△1
その他の包括利益合計	60	△1
包括利益	△77,033	△1,059,733
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△77,572	△1,059,942
非支配株主に係る包括利益	538	209

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,678,771	543,233	△670	3,321,333
会計方針の変更による累積的影響額			△2,800		△2,800
会計方針の変更を反映した当期首残高	100,000	2,678,771	540,433	△670	3,318,533
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	130,248	130,248			260,497
減資	△130,248	130,248			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△77,633		△77,633
自己株式の取得				△312	△312
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	260,497	△77,633	△312	182,552
当期末残高	100,000	2,939,268	462,800	△982	3,501,085

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	6	6	223,771	3,259	3,548,370
会計方針の変更による累積的影響額		—			△2,800
会計方針の変更を反映した当期首残高	6	6	223,771	3,259	3,545,570
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)		—			260,497
減資		—			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		—			△77,633
自己株式の取得		—			△312
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	60	60	△12,269	538	△11,670
当期変動額合計	60	60	△12,269	538	170,881
当期末残高	67	67	211,501	3,798	3,716,452

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,939,268	462,800	△982	3,501,085
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△1,059,941		△1,059,941
自己株式の取得				△257	△257
連結範囲の変動			220		220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	△1,059,721	△257	△1,059,978
当期末残高	100,000	2,939,268	△596,921	△1,240	2,441,106

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	67	67	211,501	3,798	3,716,452
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）		—			△1,059,941
自己株式の取得		—			△257
連結範囲の変動		—			220
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1	△1		209	208
当期変動額合計	△1	△1	—	209	△1,059,770
当期末残高	66	66	211,501	4,007	2,656,682

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△65,336	△1,166,076
減価償却費	275,113	285,559
減損損失	—	205,479
のれん償却額	45,932	45,932
投資有価証券売却損益 (△は益)	△85,510	—
負ののれん発生益	△214,377	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	211,930	88,654
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△226,512	337,667
その他	△31,232	287,572
小計	△89,993	84,788
利息の支払額	△90,006	△120,843
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,784	△3,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187,784	△39,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△180,045	△158,520
投資有価証券の取得による支出	△55,510	△22,863
投資有価証券の売却による収入	282,813	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△212,211	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	198,497
その他	98,759	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,193	△283,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	500,000
長期借入れによる収入	250,000	2,540,000
長期借入金の返済による支出	△538,816	△2,800,841
匿名組合員からの払込みによる収入	82,054	55,264
新株予約権の行使による株式の発行による収入	258,655	—
新株予約権の買入消却による支出	△10,427	—
その他	△5,669	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,797	294,227
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△368,180	△28,356
現金及び現金同等物の期首残高	1,069,738	701,558
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△150
現金及び現金同等物の期末残高	701,558	673,050

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に経済的特徴や製品・サービスの内容等を総合的に勘案して事業セグメントを集約し、「メディカル事業」「リアルアセット事業」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

- ・「メディカル事業」 : 再生医療事業への投資
- ・「リアルアセット事業」 : 主に不動産売買、不動産事業プロジェクトへの投資、ホテルビジネス

2. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの損失は、営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
メディカル	257,120	—	257,120	—	257,120
ホテル業	—	489,885	489,885	—	489,885
不動産業	—	333,255	333,255	—	333,225
顧客との契約から生じる収益	257,120	823,141	1,080,262	—	1,080,262
その他の収益	—	255,316	255,316	—	255,316
外部顧客への売上高	257,120	1,078,457	1,335,578	—	1,335,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	257,120	1,078,457	1,335,578	—	1,335,578
セグメント損失(△)	△157,610	△156,761	△314,371	△147,952	△462,323
セグメント資産	528,366	15,170,293	15,698,660	308,105	16,006,766
その他の項目					
減価償却費	16,390	256,975	273,365	1,747	275,113
のれん償却額	11,073	34,858	45,932	—	45,932
負ののれん発生益	—	214,377	214,377	—	214,377
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	26,425	155,210	181,635	—	181,635

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
メディカル	237,984	—	237,984	—	237,984
ホテル業	—	1,039,749	1,039,749	—	1,039,749
不動産業	—	841,309	841,309	—	841,309
顧客との契約から生じる収益	237,984	1,881,059	2,119,044	—	2,119,044
その他の収益	—	25,668	25,668	—	25,668
外部顧客への売上高	237,984	1,906,728	2,144,712	—	2,144,712
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	237,984	1,906,728	2,144,712	—	2,144,712
セグメント損失 (△)	△403,210	△229,899	△633,109	△161,250	△794,359
セグメント資産	454,558	13,002,273	13,456,831	634,803	14,091,635
その他の項目					
減価償却費	15,385	269,548	284,934	625	285,559
のれん償却額	11,073	34,858	45,932	—	45,932
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	53,674	110,445	164,120	—	164,120

- (注) 1 前連結会計年度のセグメント損失の調整額△147,952千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 当連結会計年度のセグメント損失の調整額△161,250千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
F社（注）	249,000	リアルアセット事業
㈱サテライト名古屋	208,333	リアルアセット事業

(注) 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
G社（注）	313,883	リアルアセット事業

(注) 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	その他	合計
当期末残高	—	199,183	6,295	205,479

（注）「その他」の金額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

【報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	合計
当期末残高	83,049	610,028	693,077

（注）のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	合計
当期末残高	71,976	575,169	647,145

（注）のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

「リアルアセット事業」セグメントにおいて、匿名組合出資したことにより、都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合を連結子会社とし、また、株式の取得により㈱サテライト名古屋を連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を特別利益に計上しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は214,377千円であります。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	392円12銭	273円41銭
1株当たり当期純損失(△)	△8円79銭	△118円71銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額	3,716,452千円	2,656,682千円
純資産の部の合計額から控除する金額	215,299千円	215,509千円
(うち新株予約権)	(211,501千円)	(211,501千円)
(うち非支配株主持分)	(3,798千円)	(4,007千円)
普通株式に係る期末の純資産額	3,501,153千円	2,441,173千円
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の普通株式の数	8,928,719株	8,928,494株

3 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△77,633千円	△1,059,941千円
普通株主に帰属しない金額	－千円	－千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△77,633千円	△1,059,941千円
普通株式の期中平均株式数	8,829,847株	8,928,548株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。